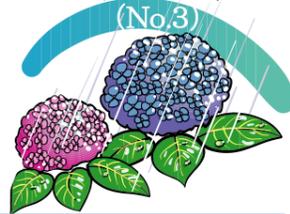


大道理かわら版 むくろじ

発行元
大道理夢求の里交流館
運営協議会
TEL : 0834-88-1830
平成27年
6月15日号



大道理地区の世帯数と人口	
世帯数	190世帯
人口	402人
男性	180人
女性	222人
(平成27年5月31日現在)	

キャリアデザイン専門学校生徒さん 作品展開催中!

現在、夢求の里交流館2階ではキャリアデザイン専門学校
の生徒さんによる作品展を開催しています。

キャリアデザイン
専門学校の生徒さん
の作品については、ほ
たる工房の「まんかい
弁当」のデザインと弁
当を手にした女性の
温かみのある満面の
笑顔が目を引き、配達
用に使われている自
動車を思い浮かべる
方がおられると思っ
ます。



Y I Cの生徒さんの作品展会場の様子



ほたる工房のお弁当の配送用自動車

大道理地区とキャリアデザイン専門学校さん
とのご縁は、百笑倶楽部の井上正幸さんが芝桜の
植栽のデザインの依頼をして、平成二十年から二
十二年まで三年をかけて植栽作業をともにした
ところから始まりました。
今回のほたる工房のお弁当のパッケージデザイ
ンが出来上がるまでには、先生と生徒さんの総勢
六十人が大道理地区に來られ、半年かけて大道理
地区の自然や人と触れ合い、その中で感じ取られ
たところから生まれました。

若者の発想力を活かに

百笑倶楽部の井上正幸さんは、今までの活動を
振り返りながら、
「百笑倶楽部が芝桜の植栽を取り組んで既に七
年。最初は何万人も人が来る祭りが出来るとは誰
が思ったでしょうか。」
事の発端は、鹿野地集落の六戸の農家。夏場の
草刈作業を楽にしたいそんな思いの中で芝桜の
取組が始まった訳です。

棚田の法面に張られた真っ黒のシート、何か花
を植えたい。だったら稲の生育に影響を与えない
背の低い花、『そうだ芝桜を植えよう』せっかく植
えるなら、ただ植えたのでは面白くない。そこで、
優秀なイラストレーターやクリエイター(デザイ
ンなど専門的な制作部門に携わる職種の方)を数
多く世に排出しているキャリアデザイン学校に
植えつけのデザインをお願いする事になりました。



Y I C生徒さんの植栽デザイン選考会の様子

こうして、彼等と芝桜を通じての交流が始まり
ました。鹿野地自治会館から見える、鶴が西に
向かい飛ぶ姿これはデザイン学校の生徒さん達
がデザインした物です。
デザインを描いた生徒さんの中には、芝桜の鶴
の様に大きくクリエイターとして羽ばたいた方
も数多く居ると聞きますし、そんな彼等の中には
『大道理でクリエイターの仕事をしたい』
と言ってくれる生徒さんも現実にあります。
本当に嬉しい限りです。



植栽デザイン下書きの発表をされています

これからの中山間地域の活性化と夢

私は思います。地域を活性化するには、感性
豊かな若者と交流をし、彼らに田舎の魅力を
伝えて行くことだろうと考えます。
当に『交流人口の増加』この事につきます。

昨年の8月にデ
ザイン学校の生
徒さん、先生、卒
業生とバーベキ
ューをして楽し
い夏の夕べをす
ごしました。今年
も又そんな彼等
とそうした時間
を持てたら、と
今企画中です。彼
等をどうもてな
すか寝暗示(寝な
がら考える事)で
考えると何時し
か早い朝が明け
ます。



昨年8月のバーベキュー時の風景

百笑倶楽部の由来は、最終的には百人が笑う、
百人が笑う事をしようよ、という意味ですから、
そのスタンスをずっと楽しく実行していきたい
です。
私の夢、それは何も鹿野地だけ、大道理だけが
よくなればいい、そんな我田引水的な考えは有
りませんし、町と村とが交流しあい、お互いみん
なが幸せになればいいと思います、又そうした
仕組みができた時初めて大道理の活性化がなさ
れると思っています」と、キャリアデザイン専門
学校の生徒さんとの交流、そして、大道理のこれ
からについての思いをお聞かせ下さいました。

特別インタビュー

キャリアデザイン専門学校

渡邊千秋さん(卒業生)
青木沙貴さん(二年生)

今回のかかわら版では、大道理地区の多くの方
にキャリアデザイン専門学校の生徒さんたちの
作品作りへの思いや形になっていくまでの過程
をお伝えするため、弁当のデザインと大道理の
ロゴデザインを手がけた二人の生徒さんとデザ
イン科主任の貞廣先生にお話を伺って来まし
た。



渡邊さん(左)、青木さん(右)

お箸袋に使われている
大道理のロゴデザインを
手がけた青木沙貴さんは
現在二年生、
お弁当容器のデザインを
手がけた渡邊千秋さんは
今年三月で卒業され、
現在防府市の印刷会社で
デザイナーをされています。



青木さんデザインの「大道理」ロゴ

Q. 渡邊さんと青木さんは昨年八月に初めて
大道理地区に來られたということですが、
大道理の第一印象と、地域の方と関わった中
で持たれた印象について教えてください。

A. 渡邊さん：大道理の第一印象は空気が綺麗だ
ということでした。
自然が大好きなので、大道理に住みたいです。
農業をしながらデザインの仕事をしたいです。

A. 青木さん：デザインを手がけるまで、大道理
には來たことがなかったのですが、自然の花が
沢山咲いていてきれいなところだと感じて、
また行きたいと思いました。
(ちょうど芝桜の時期に行けなくて) まだ芝桜
を見ていないので、見てみたいです。

(裏面へつづく)

お二人の言葉に付け加えるような形で、貞廣先生が大道理について、「大道理の人は面倒見がよくてきつぷがいい！」芝桜会場のあちらこちらで声をかけてもらってごちそうになりました。

Q. まんかい弁当のデザインの発想について教えてください。

A. 渡邊さん…お弁当のデザインは旧大道理公民館での発表会の時、いい笑顔で発表を聞いてくれるおばあちゃんがいて、そのイメージでつくりました。

お弁当を笑顔で食べてほしいから、笑顔と芝桜の満開をかけて「まんかい弁当」と名付けました。



渡邊さんが手がけたまんかい弁当のデザイン

A. 青木さん…キャラクターを考える時、猪を入れたらいいと思いました。

農作物を食べる（やっかいもの）猪ですが、猪が食べちゃうくらい大道理の野菜がおいしいからだと。逆転の発想で猪への好感を持つてほしかった。

そして、ひと目見て大道理だと伝わるものをつくりたかったです。



青木さんの班のプレゼンの様子

それから大道理のデザインに関わったことで、自分がつくって、人に見てもらえて、喜んでもらえてうれしいという気持ちで今回増しました。

渡邊さんは四月からデザイナーとしてプロの道歩き始められましたが、渡邊さんの大道理に移住したいという希望について、貞廣先生は「いつか住めたらいいなという夢物語ではなく、それはごく自然体で当たり前前にそうするんだって思っている」と、仰っていました。



渡邊さんの作品

山口県の大賞を受賞されたという作品を見て頂戴しました。ユニークな発想の作品でした。



青木さんの作品

キャリアデザイン専門学校の渡邊さん、青木さん、貞廣先生とお会いして話を伺って、一番に感じたのは、今までは世の中の価値観が変わって来ているということでした。

中山間地域を抱える課題として高齢化の問題など悲観的な内容に目が行きがちですが、貞廣先生の「大道理は宝の山だ」という話を伺っているうちに大道理は宝の山だと気づかされ、これから先のことを考えるととても楽しみなようになってきました。例えるなら、某元プロ野球選手の言葉を若干もじって、「これからは中山間地域です」と言われたような感覚になりました。

貞廣先生、青木さん、渡邊さん貴重なお話を聞かせて頂き本当にありがとうございました！

夢求の里交流館からのお知らせ

サロンのお誘い

毎月第4水曜日、サロンを開催しています

日時…6月24日(水)
10時30分～16時
場所…大道理夢求の里交流館 大会議室
対象者…男女年齢問わず どなたでも歓迎
会費…百円
備考…お昼は軽食を用意します
ご希望の方は、送迎をいたします

ミニサロンのお知らせ

日時…7月15日(水)
13時30分～16時
場所…大道理夢求の里交流館 大会議室
対象者…男女年齢問わず どなたでも歓迎
会費…百円
備考…ご希望の方は、送迎をいたします

大道理をよくする会からのお知らせ

古紙回収のお願い

日時…6月28日(日)
終日
場所…大道理夢求の里交流館 体育館下ピロティ
回収物…ダンボール紙、新聞紙(新聞と広告チラシ)、雑誌(菓子箱などは崩して雑誌扱いとします)、牛乳パック

皆様方のご協力をよろしくお願ひします
次回は9月27日の予定です。

夏季道路一斉清掃のご案内

日時…7月5日(日) 8時30分から
清掃箇所…①国道376号・各自治会周辺道路
②瀬戸兼の滝・魚切の滝フェンス設置
③大高神登山道入口・国道315号
合流地点
駐車場

準備品… ゴミ袋は事前に自治会長さんに配布
分別方法…燃えるごみ(緑色)とその他全部(土のう袋)の二種類に分けてください
各自自治会の作業が早く終わられた方でご協力頂ける方は、②、③のお手伝いをして頂ければ幸いです。
尚作業に行かれる際は各自でのご移動宜しくお願ひ致します

※市民総合賠償保険届出済

「農薬講習と米・野菜づくり何でも相談会」開催のお知らせ

日時…7月4日(土)
10時～11時30分
場所…大道理夢求の里交流館 大会議室
主催…大道理をよくする会経済部
内容…営農指導員による
・農薬の正しい使い方
・米や野菜作りの何でも相談等
対象者…どなたでも

編集後記

今回で三度目となるかわら版の発行ですが、実はかなりの産みの苦しみを味わいました。キャリアデザイン専門学校さんの取材をしたのが四月末日。すべてが規格外の貞廣先生のお話に衝撃を受け、これをどうやって形にしたものかと懊悩しつつゴールデンウィークが過ぎ、五月が終わり、とうとう六月。今回で必ず形にしなければと決めて、ようやく取り掛かり始めた時に貞廣先生から、取材されたものがどうなったのかという問い合わせのお電話を頂き、いよいよお尻に火が付いて初のA3裏表での作成という特別版を作ることとなりました。

かわら版が完成したのは締切前日。完成しなければ帰らないと決めて、夕方一旦長穂の自宅に帰って食事をして、布団と着替えのお泊りセットを車に詰め込んで雨降りの中、悲壮な思いを胸に交流館へ。山田事務長の協力を得て原稿の終わりが見え、どうにか交流館での一人合宿をせずに済みました。夏休みの宿題を八月三十一日に泣きながら家族に呆れられつつ毎年悲壮な面持ちでやつつけて、とうとう一度も計画的に終わらせることなく小學生を終えましたが、三つ子の魂は四十前になってもやはり変わらず、でした。

作成の裏側はさておき、今回の取材のために、仕事を早退して取材に応じて下さった渡邊さん、それから青木さん、貞廣先生、お忙しい中お時間を作ってください、ありがとうございました。貞廣先生の無尽蔵の発想や夢のお話に大変刺激を受けました。

大道理にお住まいの皆さんキャリアデザイン専門学校生徒さんの作品を見に、ぜひ交流館に足をお運びください。(山縣あきこ)

